

	<p>六日 二七度五五分 一一一 度五四分</p> <p>七日 二五度一三分 一二〇 度〇六分</p> <p>八日 二二度三分 一一五 度三分</p> <p>無</p>
<p>一日 海軍大臣</p> <p>三日 佐世保鎮守府司令長官</p> <p>南西方面艦隊司令官 上海在勤海軍武官</p>	<p>軍務艦機密第二七六六號</p> <p>兵器供給ノ件關會</p> <p>佐世保海軍軍需部、シマ機帆船用トシテ左記兵器ヲ南西方面艦隊司令部ニ供給セシムベシ</p> <p>記</p> <p>九六式六分機 改一 二個 (第十一金剛丸、正榮丸用)</p> <p>空盒晴雨計 一型 五個 (住榮丸、正榮丸、住力丸、水母丸、藥津丸用)</p> <p>自記晴雨計 一型改一 二個 (白山丸、金榮丸用)</p> <p>七倍稜鏡雙眼鏡 七個 (住榮丸、正榮丸、住力丸、水母丸、藥津丸)</p> <p>三角冠 七個 (住榮丸、正榮丸、住力丸、水母丸、藥津丸)</p> <p>書</p>

海軍三一

<p>四日 〇九一〇</p>	<p>上海根拠地隊 司令官</p>	<p>四日 一三三〇</p> <p>佐世保鎮守府參謀 長 上野方 第六 警戒隊 船部 隊 各指隊官 長 橋 若松 神戶 門 各在勤海軍武官</p> <p>佐世保防備隊 司令官 佐世保 防備隊 佐世保 海軍航空隊 各 司令官</p>	<p>機密第〇四〇九一〇番電</p> <p>一、シ 第二六船團（搭載破石）船戸丸五一 五〇 船索像丸四六〇〇 船以上八幡行、 日 德丸六七〇〇 船小倉行 二 護衛艦 大立 瀬力 八節 三 四日 〇八〇〇 吳松發 大瀬崎 直航 六日 一 〇〇 賣島 着解 列七日 未明 六 運 船ノ 像 定</p> <p>四 正午位遊</p> <p>五 日 東 經 一 二 五 度 三 〇 分 北 緯 三 一 度 四 〇 分</p>	<p>機密第〇四一三〇〇番電</p>	<p>四日 〇九一〇</p>	<p>四日 一三三〇</p>	<p>機密第〇四〇九一〇番電</p>	<p>機密第〇四一三〇〇番電</p>	
		<p>兩脚器 七個 用丸、白山丸、金築丸</p>				<p>無</p>		<p>無</p>	
		<p>文</p>				<p>無</p>		<p>無</p>	

海軍三

<p>五日一三〇〇 鹿廬海軍航空 隊司令</p>	<p>五日一五 佐世保鎮守府</p>	<p>鷹島 艦長</p>
<p>五日一四一〇 佐世保鎮守府 佐世保防備隊長</p>	<p>五日一三四一 佐世保鎮守府管區 内總船 長崎・三池・伊 高里・武官客 在勤海軍一部 大海參謀部長</p>	<p>佐世保鎮守府參謀 長・佐世保防備 隊長・佐世保 防備司令 佐世保航空 隊司令・伊高里 隊司令・各在勤 海軍武官・海上 警備隊司令 根地隊司令 海軍警備隊司令 鎮守府參謀</p>
<p>機警報〇五一三〇番電 五日一〇二〇喜森鹿崎(種子島)ノ六〇線 展五温ニ敵潛没潜水艦アリ</p>	<p>機警報〇五一一一番電 對潛警報 五日一〇一〇北緯三〇度五二分東經一二 五度三〇分敵潜水艦アリ</p>	<p>シ弟三一〇船團六月四日一一〇〇有川發 大瀬崎ヨリS六一經由余山ニ向フ六日一 五〇〇「ベルブイ」ニ豫定 正午位置 四日相崎瀬戸五日北緯三二度三〇分東經 一二五度五〇分</p>

海軍三三

<p>五日一五〇五 佐世保鎮守府</p>	<p>五日一五〇五 佐世保鎮守府</p>	<p>五日一五〇五 佐世保鎮守府</p>
<p>吳防備艦隊各司令官 (第五十航空艦隊司令官)</p>	<p>五日一七一一〇 佐世保鎮守府管區 内總船組 門司、伊萬里、三池、基、各在 勸海軍、武官、各 度兒島、那、各 海上、保、各 海參、第一、各 大、部、長</p>	<p>五日一六五〇 佐世保海軍航空隊 鹿兒島基地各指揮官 佐世保鎮守府 佐世保海軍 佐世保海軍 佐世保海軍 各指揮官</p>
<p>機密第〇五五〇番電 對潛警戒 五日一〇二〇北緯三〇度五二分東經一三 一度八分敵潛水艦アリ</p>	<p>機密第〇五一五〇番電 金力ヲ繰ゲテ喜志鹿崎ノ六〇度五厘ノ敵 機密第〇五一五〇番電 全力ヲ繰ゲテ喜志鹿崎ノ六〇度五厘ノ敵 潜没潜水艦ヲ攻撃セヨ</p>	<p>機密第〇五一五〇番電 全力ヲ繰ゲテ喜志鹿崎ノ六〇度五厘ノ敵 潜没潜水艦ヲ攻撃セヨ</p>
<p>無</p>	<p>無</p>	<p>無</p>

海軍三四

<p>五日三〇〇六 第十四掃海 隊司令</p>	<p>五日三〇二〇 第十四掃海 隊司令</p>	<p>二日 海軍省教育局 長</p>
<p>五日 三〇二〇 佐世保鎮守府參謀 長、佐世保鎮守府 司令官、大島防 備隊司令官、大島防 備隊各司令官、海軍 航空隊各司令官</p>	<p>五日 三一一〇 佐世保鎮守府參謀 長、佐世保鎮守府 司令官、大島防 備隊司令官</p> <p>鹿兒島、屋 敷、佐世保各海軍航 空隊、大島防備 隊各司令官</p>	<p>五日 各鎮守府參謀長、 各警備府參謀長、 各海軍病院長、 (各艦隊參謀長)</p>
<p>敵潜水艦アリ種子島ヨリノ方位北五淵</p>	<p>機密第一〇五二〇二〇番電 種子島北端五淵ニテ爆雷ヲ投射八個 効果不明 一九五〇</p>	<p>教育機密第一五五號 補充兵、國民兵（衛生兵） 教育ニ關スル件照會 官房人機密第二〇九號ニ依リ海軍病院（ 昭和十八年六月十五日充員召集ノ第二國 民兵ニアリテハ横須賀、吳、佐世保及舞</p>
<p>無</p>	<p>報</p>	<p>文 醫</p>

<p>             各海軍病院ニ於テ實施スル補充兵              國民兵（衛生兵）ノ教育ニ關シテハ海人              機務第一號ノ一九二中補充兵・國民兵ノ              基礎教育規程ニ依ル外別紙標準ニ依ル看              護術教育ヲ實施相成度              （別紙）              補充兵・國民兵（衛生兵）              看護術教程標準           </p>	<table border="1"> <tr> <td>科</td> <td>目</td> <td>教授時數</td> <td>記</td> <td>事</td> </tr> <tr> <td>解剖及生理學ノ概要</td> <td></td> <td>七</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>藥物學及調劑術ノ概要</td> <td></td> <td>五</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護法一救</td> <td></td> <td>五</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急法及止血法</td> <td></td> <td>五</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裝創術</td> <td></td> <td>〇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繃帶術</td> <td></td> <td>八</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>傷者運搬法</td> <td></td> <td>三</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消毒法</td> <td></td> <td>三</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護實習</td> <td></td> <td>三</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <p>               各病會ニ關シテ實施ス                宜             </p> </td> </tr> </table>	科	目	教授時數	記	事	解剖及生理學ノ概要		七			藥物學及調劑術ノ概要		五			看護法一救		五			救急法及止血法		五			裝創術		〇			繃帶術		八			傷者運搬法		三			消毒法		三			看護實習		三			<p>               各病會ニ關シテ實施ス                宜             </p>				
科	目	教授時數	記	事																																																				
解剖及生理學ノ概要		七																																																						
藥物學及調劑術ノ概要		五																																																						
看護法一救		五																																																						
救急法及止血法		五																																																						
裝創術		〇																																																						
繃帶術		八																																																						
傷者運搬法		三																																																						
消毒法		三																																																						
看護實習		三																																																						
<p>               各病會ニ關シテ實施ス                宜             </p>																																																								

海軍三六

<p>五日二三五五 大和田海軍通 信隊司令</p>	<p>六日一一一三 通信部隊指揮 官</p>
<p>六日 佐世保鎮守府 鎮守大佐 佐野大佐 府隊第一隊 支隊第一隊 謀司第一隊 三隊司令 海軍第八隊 通信隊 軍務班長</p>	<p>六日 依世保鎮守府 鎮守大佐 依田大佐 合隊第一隊 艦隊第一隊 隊第一隊 上陸隊第一隊 大和田海軍通 信隊司令</p>
<p>機密第〇五二三五五番電 二〇二三艦種不明ノ日B O Q測定概位東 緯一二五度北緯三一一度(誤差大)一般宛 作戦特別緊急信(航空暗號)一册送信セ</p>	<p>機密第〇六一一一三番電 大和田通機密第〇五二三五五番電 五日二〇二三北緯三一一度東經一二五度附 近ニ出現セル船艇ハ潜水艦ト認ハルモ潜 水艦ガ航路機暗號ヲ使用シタルモノノ如 ク稀有ノヨトニシテ潜艦機ヲ使用セル疑 ホアリ滋濃ヲ與ス</p>
<p>無</p>	<p>線</p>

海軍三七

<p>六日 一六五五</p>	<p>第四船團運航 指揮官</p>	<p>六日 一三〇六 大海參謀部特務班</p>	<p>六日 一九三五</p>	<p>第一海上護衛隊參謀長 (佐世保鎮守府參謀長)</p>	<p>六日 一八三〇 佐世保鎮守府 鐵守府聯合隊 第一隊 第三隊 除各司合長官 佐世保、大和田 各海軍通信隊司 令、通信部隊指 揮官</p>
<p>機密第〇六一六五五番電</p>	<p>敵潛情報 北緯三〇度五四分東經一二六度二八分ニ於テ列外ニアリタル大和丸ハ敵潜水艦ノ砲撃ヲ受ク被害ナシ</p>	<p>機密第〇六一二〇六番電 六月五日三〇二五米艦(潜水艦)ト推定ニ機位北緯三一度〇分東經一二七度ニ於テ航路機暗號ニ依ル作戦特別緊急信ヲ送信簡電ハ「ホノルル」ヨリ二回發送セラレタリ九州方面飛行偵察又ハ航路部隊ニ對シ氣象通報ヲ實施セル算大ナリ</p>	<p>機</p>	<p>機</p>	<p>無</p>

海軍三八



佐世保鎮守府  
參謀長

佐鎮部隊

五日二〇二三北緯三一度東經一二五度附近(概位)ニ於テ米軍航艦機暗號ヲ使用セル艦艇アリ稀有ノロトニシテ敵潜水艦播種ノ小型水上機使用或ハ關係航艦部隊トノ直接通信實施ノ疑濃厚ナリ  
最近敵ガ我方氣象暗號判讀ニ成功セルモノノ如キ情報アルニモ敵ミ警戒ノ要大ナリ

無

六日一六五〇  
佐世保鎮守府  
參謀長

六日 一八一八  
第一海上護衛隊  
參謀長

大海上護衛隊  
門河佐世保海軍  
官佐世保海軍  
戰隊司令官佐  
世保海軍航空隊  
大島防備隊各司令

機密第〇六一六五〇番電  
近來敵潜水艦支那東海中央及南西部ニ出没スルモ同海面ニ對シテハ本府艦艇及飛行機ヲ以テスル攻撃意ノ如クナラザルニ鑑ミ敵潛ノ情況ニ應ジ貴船團ノ航路ヲ南西諸島寄リニ遷延セラルレバ護衛協力上  
好都合ト認ム

線

<p>六日一一三三 伊萬里灣集會 地密理官</p>	<p>六日一〇一九 勝馬艇長</p>
<p>六日 一四〇〇 佐世保鎮守府司令 長官 上海根拠地 隊司令官</p> <p>第一海上護衛隊 第二文庫隊 高橋備府各隊 長官 門司預備 海軍武官 藤助 長官 望戸艦長</p>	<p>六日 一三一五 佐世保鎮守府參謀 長官 上海根拠地隊 佐世保防備隊各 司令官 佐世保海 軍航空隊司令 鎮海警備府參謀 長官 伊萬里灣 長官 各在勤海軍 武官</p>
<p>機密第〇六一一三番電 マシ第六〇七船團七隻六日〇七〇〇伊萬 里灣發八日一二〇〇「ベルブイ」着ノ 隊定速力八節 航路吉意岐ノ北五淵ヨリS六一經由余 山ニ向フ 順豐丸J S K馬鞍山、大圖丸P T D蕪 湖、御影丸U B B狹港、昭泰丸K S R 坑木材、御山丸G X N雜貨、中華丸S</p>	<p>機密第〇六一〇一九番電 シ第三一〇船團六日〇九三〇余山沖着</p>
<p>線</p>	<p>無</p>

海軍四〇

<p>六日一五二〇 大立艇長</p>	<p>六日一七五五 佐世保鎮守府參謀 長 佐世保守備隊長 佐世保司令官</p>	
<p>機密第〇六一五一〇番電 一五〇〇 寶島南方ニテ 本艇七日一二〇〇 佐世保ニ歸投ノ豫定</p>	<p>Q A 機敏以上上海、春天丸 O A O 軍 船品高雄 (マニラ) 正午位置 七日三二度四〇分一二五度三〇分 馬護衛艦兼及特務艦室戸 (船團ニ續行ス) 六日一二〇〇 古志岐北五淵ニテ合同ス 上海行 四昭乘丸六日〇六〇〇 發艦團ニ先行ス 五海丸「ベルアイ」ニテ分離大陸接岸 十日一二〇〇 高雄着ノ豫定 正午位置 九日二七度二八分一二一度五八分</p>	<p>線</p>

海 軍 四 一

海軍航空隊司令  
上海根拠地隊司令  
海軍武官

一日  
海軍大臣  
佐世保鎮守府司令

第六  
聯合艦隊第八  
川内艦長

富房艦機密第二七七六號

軍艦川内ニ電波探信機裝備  
等ノ件訓令

佐世保海軍工廠ヲシテ首題ノ件左記ニ依  
リ施行セシムベシ

記

工事要領

- (1) 電波探信機裝備ヲ概テ左記要領ニ依リ  
裝備スルモノトシ詳細ニ關シテハ艦  
隊軍艦阿武隈要領ニ依ルノ外要スレ  
バ海軍艦政本部長ヲシテ直接佐世保  
海軍工廠長ニ連絡セシム
- (2) 前橋ニ假稱二號電波探信機一型用

書

文

組中線施圖裝置ヲ又電波探信室ニ  
 送受信機其ノ他ノ機器ヲ裝備ス  
 (二) 組中線施圖裝置ハ電波探信室ニ於  
 テ電動及手動ニ依リ操縦シ得ル如  
 クス  
 (三) 電波探信機用電源タル電動交流發  
 電機ハ電波探信室附近ニ電壓調整  
 器ハ成ル可ク電波探信室内ニ裝備  
 ス  
 (四) 指揮用備裝置ヲ整備ス  
 (五) 電波探信室ニ電氣暖房器及卓上扇  
 風機用座各一個ヲ裝備ス  
 (六) 主砲方位盤照準裝置ヲ主砲射擊指  
 揮所ニ移裝シ之ニ關聯スル工事ヲ  
 施行スルモノトス  
 (七) 前各項ニ伴ヒ給電電路、照明電燈

文

書

海 軍 四 三

1273

ニ所要兵器

- (一) 第一無線電話室現裝ノ二號無線電話機透爾機ヲ撤去シ後部電信室ニ二式中五號透爾機ヲ裝備ス
- (二) 別表要領ニ依リ測波裝置ヲ整備ス
- (三) 後部電信室現裝ノ九七式樂音變調機一組ヲ撤去ス
- (四) 現裝ノ送中線ヲ左ノ要領ニ依リ改造ス
- (一) 受信及短波透爾送中線ノ約1/3ヲ磁鋼線ニ本換トス
- (二) 長波及中波透爾送中線ヲ磁鋼線ニ本換トス
- (三) 引揚索(一)ノ場合六耗鋼索(二)ノ場合八耗鋼索ヲ使用ス

文

器

<p>海軍艦政本部長ヲシテ直接佐世併海軍 軍需部長ニ通牒セシム</p>	<p>三 試 験</p>	<p>(4) 電波探偵儀試験ヲ行フ (5) 主砲方位盤照準裝置移裝ニ伴ヒ常裝 藥演習彈一門ニ付一發ノ方位盤發射 試験ヲ行ヒ公試ニ代フ</p>	<p>四 完 成 期</p>	<p>時機ヲ得次第速ニ</p>	<p>五 費 目</p>	<p>臨時軍事費 臨時軍事費 造船遣兵及 修理費 溢修費 一般改裝(線)(電) (砲)(航)(船)一括配付豫算内支 辨トス</p>	<p>(別 表 略)</p>	<p>警</p>	<p>文</p>
---	--------------	--	----------------	-----------------	--------------	---	----------------	----------	----------

海 軍 四 五

一日  
海軍大臣

六日  
佐世保鎮守府司令  
長官

官房艦機密第二七八一號

江ノ島防備衛所兵器一部換裝  
ノ件訓令

佐世保海軍工廠及佐世保防備隊ヲシテ前  
題ノ件左記ニ依リ施行セシムベシ

記

一 工事費領

(1) 昭和十七年官房機密第六二三〇號訓

令中九七式水中聽音機三基ヲ撤去シ

新ニ供給ノ二式磁氣探知機五組ト換

裝スルモノトス

尚工事ノ詳細ニ關シテハ海軍艦政本

部長ヲシテ直接佐世保海軍工廠長ニ

通達セシム

(2) 佐世保防備隊ハ海上作業ニ關シ協力

スルモノトス

文

書

海軍 第六



<p>(一) 二式磁気探知機環線ノ設置位置ニ關シテハ佐世保鎮守府司令長官ノ定ムル所ニ依ル</p> <p>文</p>	<p>二 所要兵器</p> <p>海軍艦政本部長ヲシテ直接佐世保海軍軍需部長ニ通牒セシム</p>	<p>三 兵裝試驗</p> <p>二式磁気探知機兵裝試驗ヲ施行ス</p>	<p>四 完成期</p> <p>昭和十八年十一月三十日達成ルベク速ニ</p>	<p>五 雜件</p> <p>工事ニ使用スル艦船行動用燃料及消耗品ハ佐世保海軍軍需部保管ノ兵備品ヲ檢替供給スルコトヲ得</p>	<p>六 費目</p>
---	--	--------------------------------------	--	---	-------------

警

1277

七日	七日 佐世保鎮守府 司令長官				臨時軍事費 臨時軍事費 造船造兵及 修理費 造修費 防備隊設備（練） 一 插配付豫算内支辨トス			
機密佐世保鎮守府命令第二〇三號	機密佐世保鎮守府命令第二〇三號 佐世保鎮守府命令 左に依り本府徴備船ヲ徴備スベシ				文			
第五 金好丸	第三 幸福丸	第三 利根丸	船名	船隻 總噸數	船主 任務	先頭艦	授受 期日	授受 能
三五六一六 清水金平	三五〇六五 坂本芳藏	三五九三九 浦崎源藏	魚雷及器 材運搬用	魚雷及器 材運搬用	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠
魚雷發射 機用	魚雷發射 機用	魚雷發射 機用	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠
川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠
川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠
川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠	川柳海軍工廠

海軍 第四八

佐世保鎮守府  
司令長官

八日〇二四〇八日 一五一〇  
河北丸 佐世保鎮守府

佐世保鎮守府命令

マ大村(乙)海軍航空隊(假稱)鹿屋(乙)海軍航空隊(假稱)小蘇海軍航空隊(假稱)及種子島海軍航空基地(假稱)設立準備ノ爲本府ニ委員會ヲ設置シ委員長及委員ヲ別紙ノ通指定ス

ニ委員長ハ委員ヲ督シ第一號ノ設立準備ニ從事シ毎月頭(要スル場合ハ其ノ都度)之ガ進捗ノ狀況其ノ他所要事項ヲ報告スベシ

三部下各部ノ長ハ委員長ノ協議ニ應ジ便宜ヲ供與スベシ

(別紙略)

機密第〇八〇二四〇番電  
敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ク沈没ノ虞アリ

無 綴

費

文

海

軍四九

<p>八日〇五三二 河北丸砲艦長</p>	<p>八日 〇七一五 佐世保鎮守府司令 佐官 海軍大尉 長官 海軍少將 軍令部 海軍少將 運輸部 海軍少將 三務部 海軍少將</p>	<p>機密第〇八一〇二七番電 六月八日〇二二五右一番船艙附近雷霧ヲ 受ケ一發命中艙後一番船艙ニ直ニ浸水以 後二番船艙ニ浸水セルヲ以テ極力排水ニ</p>
<p>八日〇九三一 第三十一號哨 戒艇長</p>	<p>八日 一一三〇 第四十三警備隊司令 佐世保鎮守府參謀長 佐世保鎮守府參謀長 第四艦隊長</p>	<p>機密第〇八〇九二一番電 河北丸雷霧ヲ受ケ一、二番船浸水沈没ニ 頻シツツアリ我附近警戒監視中 地緯北緯九度三〇分東經一三四度三二分</p>
<p>八日〇五三二 河北丸砲艦長</p>	<p>八日 〇七一五 佐世保鎮守府司令 佐官 海軍大尉 長官 海軍少將 軍令部 海軍少將 運輸部 海軍少將 三務部 海軍少將</p>	<p>北緯八度五八分東經一三四度一四分 機密第〇八〇五三二番電 〇六〇〇沈没 機位北緯九度〇六分東經一三四度二〇分</p>

海 軍五〇

<p>八日一六〇八 佐世保鎮守府 參謀長</p>	<p>八日 三二〇一 佐世保防衛隊 佐世保海軍司令部 各司令官 海軍航空隊司令 大島防衛隊 世保防衛隊 令佐世保各 航空隊 航隊 國隊 池各在勸諭 官</p>	<p>力ム第三十一號哨戒艇護衛ノ下ニ微速ニ ヲ航進ヲ續ケシモ漸次淺水遂ニ〇九四一 沈没ス位置北緯九度三〇分東經一三四度 三二分負傷者三名其ノ他益員第三十一號 哨戒艇ニ收容觀望圖霧ハ全部無事</p>
<p>機密第〇八一六〇八番電 最近ノ譜情報綜合石ノ通 一重慶海軍ハ沈底式磁氣機雷ヲ有シ布雷 遊艦隊之ヲ敷設ス敷設員ハ便衣ヲ着シ 飛克等小型舟艇ヲ使用シ既ニ陽子江花 鳥山余山間・香港東方大亞灣沖・臺灣 白沙岬附近及臺灣列島附近ニ敷設シア ルコト概不確實ナリ 米潜水艦又同式機雷及磁維機雷ヲ内地 沿海ニ敷設セルモノアリ</p>	<p>海 軍 五 一</p>	

八日二〇〇〇八日

一五二五

機密第〇八一〇〇番電

浮虜訊聞ニ依ル米潜水艦爆雷攻撃ヲ被

リタル際ノ逃避法次ノ如シ

(1) 急速深度變換逃避所要時

(一) 水上状態ヨリ全没迄約五〇秒

(二) 潜望鏡露頂状態ヨリ最大安全深度

約八〇米潜航迄約一分(通常潜航

ノ際ハ三分乃至四分)

(四) 艦長ニ依リテ右ノ場合約一〇〇米

位モ潜航スルコトアリ

(三) 深々度潜航後ハ聽音ヲ困難ナラシム

ル爲最微速力二節以下ニテ適宜行動

ス

(二) 狀況ニ依リ發射管ヨリ適宜油壓氣其

ノ他維多ナモノヲ射出ス

無

綴

海

軍五二

<p>八日一二〇六 上海根據地隊 司令官</p>	<p>燕艇長</p>
<p>八日 一六四五 佐世保鎮守府參謀 長・佐世保鎮守府 警戒隊長・航空隊 各指揮官・長崎 伊真里大坂各在勤 岩松武官</p>	<p>佐世保鎮守府參謀 長・佐世保鎮守府 各隊司令官・大島防 備隊司令官 高嶺地方海軍運 輸部長・伊高里 海軍第一海軍衛隊 司令官</p>
<p>機密第一〇八一二〇六番電 支第二七船團（連絡船・礦石船）和山丸 七一四〇船馬來丸六四五〇船たまひめ 丸四七〇〇船三池山丸四五七〇船以上 八輪行・第八多聞丸三九五〇船大阪行 船仙丸船密三九六名綿實其ノ他一二〇 〇船長崎行 二 艦衛艦鷹島八節 三 八日一〇〇〇吳淞着大瀬埼區航十日一</p>	<p>一 第六〇七船團〇八〇〇余山着濃霧ノ 爲解列艦衛ヲ止ム一五三〇吳淞着ノ豫 定水先手配ヲ乞フ 二 春天丸ハ分離高雄ニ向フ</p>
<p>機</p>	<p>無</p>

海軍三

<p>八日一二四八 鷹島艇長</p>	<p>八日 一九〇〇 佐世保鎮守府 佐世保防備隊 長、佐世保根拠地 隊、上海根拠地隊 各司令官</p>	<p>機密第〇八一三四八番電 ノ第二七船團（靈仙丸、第八多聞丸、馬 來丸、和山丸、三浦山丸、玉飯丸）ヲ直 接護衛八日一四三〇一ベルブイ一後大瀬 埼ニ直航速力八節十日一二〇〇黃島着ノ 豫定 正午位置 九日北緯三一度五〇分東經一二五度三〇 分</p>	<p>海軍武官 司長 備府參謀 隊司令官 佐世保海軍航空 隊司令官</p>	<p>海軍武官 司長 備府參謀 隊司令官 佐世保海軍航空 隊司令官</p>	<p>二〇〇黃島、古志岐島沖ニテ解列十日 一〇〇〇六運着ノ豫定 正午位置 九日北緯三一度五〇分東經一二五度三 〇分</p>

海 軍 五 四



<p>九日一五三八 佐世保海軍通 信隊沖繩分遣 隊長</p>	<p>九日一九四五 伊萬里灣集合 地管理官</p>
<p>九日二〇〇〇 佐世保防備隊司令官 佐世保防備隊司令官 基隆在勤海軍武官</p>	<p>九日二一一五 佐世保鎮守府司令官 佐世保鎮守府司令官 佐世保鎮守府司令官 佐世保鎮守府司令官</p>
<p>第一海上護衛隊 防備隊長佐世保 防備隊長佐世保 防備隊長佐世保 防備隊長佐世保</p>	<p>哨戒第三十八號 哨戒第三十八號 哨戒第三十八號 哨戒第三十八號</p>
<p>機密第〇九一五三八番電 鹿第一三船團日寅丸、澎湖丸（X S P） 添隆行、智利丸（K R D）西貢行、滿泰 丸、盤谷行一五〇〇發速力八・五節先島群 島北端地附近接航十日正午移良間北方一 五週十一日正午基隆着、護衛艦關丸歸途 昭和丸</p>	<p>機密第〇九一九四五番電 哨戒第九〇二船團二隻護衛艦第三十八號 哨戒艇九日一六〇〇伊萬里灣發十日一 九〇〇余山通過ノ豫定 速力一五節航路二神島一五四度三週日 リS六〇、S六一ヲ經テ余山ニ向フ 摩耶山丸V X Q陸軍、吉林丸X U日船</p>
<p>無</p>	<p>線</p>

海軍五五



<p>十日 一〇〇三 勝馬 艦長</p>	<p>十日 一〇〇三 佐世保鎮守府參謀 長、佐世保艦隊司令 官、海軍根拠地隊司令 官 (門司、長崎各在)</p>	<p>機密第一〇一〇〇三番電 十日〇九三〇ノ第二七船團責島着</p>	<p>備考 極力船團ヲ加入ノコト</p>	<table border="1"> <tr> <td>三 重</td> <td>六 月 二十日</td> <td>六 月 二十七日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>楡 林</td> <td>六 月 二十七日</td> <td>七 月 一日</td> <td>八幡行 磯石 三〇〇噸</td> </tr> <tr> <td>高 雄</td> <td>七 月 五日</td> <td>七 月 七日</td> <td>佐世保行 卓品 適宜</td> </tr> <tr> <td>鹿兒島</td> <td>七 月 十五日</td> <td>七 月 十五日</td> <td>鹿兒島行 ボンブ式 淺深 船一 (施設本部) 現航 備戻 適宜</td> </tr> <tr> <td>佐世保</td> <td>七 月 十六日</td> <td>七 月 十八日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>八 幡</td> <td>七 月 十九日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	三 重	六 月 二十日	六 月 二十七日		楡 林	六 月 二十七日	七 月 一日	八幡行 磯石 三〇〇噸	高 雄	七 月 五日	七 月 七日	佐世保行 卓品 適宜	鹿兒島	七 月 十五日	七 月 十五日	鹿兒島行 ボンブ式 淺深 船一 (施設本部) 現航 備戻 適宜	佐世保	七 月 十六日	七 月 十八日		八 幡	七 月 十九日			<p>線 無 醫 女</p>
三 重	六 月 二十日	六 月 二十七日																											
楡 林	六 月 二十七日	七 月 一日	八幡行 磯石 三〇〇噸																										
高 雄	七 月 五日	七 月 七日	佐世保行 卓品 適宜																										
鹿兒島	七 月 十五日	七 月 十五日	鹿兒島行 ボンブ式 淺深 船一 (施設本部) 現航 備戻 適宜																										
佐世保	七 月 十六日	七 月 十八日																											
八 幡	七 月 十九日																												

海 軍 七

勤海軍武官、  
海警備府參謀長

十一日  
伊萬里灣集會  
地管理官

十一日 一三二五  
佐世保鎮守府司令官  
長官、上海、廈門  
各根據地隊司令官

第一海軍  
參謀長、山門  
警備司令、武官  
司令、海軍  
第三號、南  
特務長、南  
警備府參謀長、南  
佐世保鎮守府參謀長、南  
司令官、防備部  
第二部長、防備部

機密第一一〇番電  
マノ第一〇三船團三隻護衛艦第三十三號  
艦濠特務艦十一日〇六〇〇伊萬里灣發  
十五日〇三二〇ベルブイ着ノ豫定  
速力五節航路古志岐島北三淵S六〇、  
S六一經由余山ニ向フ島江丸(浚漂船)  
Q I R 六三七噸上瀬(八所)上總丸C  
Q 且下總丸O R 以上二七〇噸廈門(八所)

三正午位置

十一日 古志岐島三五度七淵  
十二日 三五度一分一二七度〇七分  
十三日 三五度四〇分一二五度一分  
十四日 三一度五一分一二三度一分

無

線

海軍五八

<p>十一日 三五〇 上海 勸海軍 武官</p>	<p>十二日 〇八〇〇 佐世保鎮守府 長支那方面艦隊 第一支隊各艦長 第二支隊各艦長 第三支隊各艦長 第四支隊各艦長 第五支隊各艦長 第六支隊各艦長 第七支隊各艦長 第八支隊各艦長 第九支隊各艦長 第十支隊各艦長 第十一支隊各艦長 第十二支隊各艦長 第十三支隊各艦長 第十四支隊各艦長 第十五支隊各艦長 第十六支隊各艦長 第十七支隊各艦長 第十八支隊各艦長 第十九支隊各艦長 第二十支隊各艦長 上海根據地司令官 上海根拠地隊司令官 上海根拠地隊副司令官 上海根拠地隊主任</p>	<p>機密第一一二三五〇番電 刑門敵ニ海感ニ重慶軍ノ氣象班潛入 シアリテ氣象通報ヲ行ヒアリ 一班ハ長以下三名ニシテ第一班長ハ張 某第二班長ハ李某アリ 桂林又ハ南寧ヲ出發トスル米戰鬪機 ノ偵察飛行ハ佛領印度支那又ハ南支方 面ニ對スルモノト認ムハ最近連日ノ 線</p>	<p>受上總丸、下總丸ベルグイニテ分離南下 大陸接岸十九日〇六〇〇厦門着ノ豫定無 正午位置 十五日 三〇度二〇分一二二度二〇分 十六日 二八度一九分一二二度〇七分 十七日 二六度四〇分一二〇度五〇分 十八日 二四度五五分一一九度三三分</p>
----------------------------------	---	--	---

海軍五九

<p>伊萬里灣集會 地管理官</p>	<p>十二日〇八三六</p>
<p>第一海上護衛隊 高尾府根據地 地隊佐根據地 地隊佐根據地 備隊佐根據地 舟隊佐根據地 令隊佐根據地 長隊佐根據地 軍部佐根據地 輸部佐根據地</p>	<p>十二日 一一四〇 佐世保鎮守府司令 長官 上海根據地 隊司令官</p>
<p>機密第一二〇八三六番電 一ノ第二〇八船團八隻十二日〇五〇〇伊 萬里灣發十四日一二〇〇花鳥山着ノ像 定速力八節航路相崎瀬戸三〇一三 露山丸 B O P 馬鞍山、正元丸 D T A 宗 像丸 F I O 以上燕湖、親和丸 A U R 軍 輸吳滋、あるぐん丸 N J D 雜貨高雄（ 西貢）率成丸 P Q A 兵器、彈藥、軍需 品、便乘者三六〇名高雄、佛蘭西丸 A J D 厦門（檢林）安房丸 Y T R 馬公（</p>	<p>如ク行ハレアリ敵ハ出艦ノ機ヲ窺ヒア ルモノト認ム 中南支共明十二日ヨリ漸次天候崩レ來 ルモ明日中ハ大體良好ノ見込ナルヲ以 テ各方面トモ依然トシテ警戒ヲ要ス</p>

海軍 〇

<p>盤谷</p> <p>正午位置</p> <p>十二日相ノ島沖十三日三二度三〇分一</p> <p>二五度四五分</p> <p>三 護衛艦峯風十二日一五〇〇黄島ノ南三</p> <p>四 雨下船幸成丸ヲ除ク花鳥山ニテ分離大</p> <p>陸接岸十七日〇五〇〇馬公〇七〇〇厦</p> <p>門一二〇〇高嶺船ノ豫定</p> <p>正午位置</p> <p>十五日 二八度〇三分一三一度四五分</p> <p>十六日 二五度三五分一一九度五八分</p> <p>五 幸成丸花鳥山ニテ分離後獨航大陸迄近</p> <p>撥岸十八日一二〇〇高嶺船ノ豫定</p> <p>正午位置</p> <p>十五日 二八度一〇分一二一度三四分</p>	<p>無</p>
---	----------

海軍六一

<p>十二日 佐世保鎮守府 司令長官</p>	<p>十一日 140H 燕 艇 長</p>	
	<p>十二日 一八四〇 佐世保鎮守府參謀 長 佐世保根藏地隊 佐世保防備隊各 司令官 佐世保防 備隊 大島防備隊 各司令官 若松・神戸・門 司各在 勸海軍武 官</p>	
<p>機密 佐世保鎮守府命令第二一〇號 佐世保鎮守府命令 佐世保海軍軍需部長ハ第三魚雷調整班ノ 軍需魚雷調整場内層位ニ關シ要スレバ假 設物ヲ設備シ便宜ヲ供與スベシ 佐世保海軍艦艇部長ハ右設備整備ニ關シ</p>	<p>機密第一二一七〇番電 モ第〇〇六船團一七〇〇賣馬通過 我艦船ヲ止ムニ二〇〇六隻相崎瀬戸通過 ノ豫定</p>	<p>十六日 二五度四〇分一二〇度〇分 十七日 二三度三五分一一七度三四分</p>
<p>警</p>	<p>文 線</p>	<p>無</p>

海 軍 六 三



<p>十二日一八五六 上海在勦海軍 武官</p>	<p>十三日 〇六〇〇 佐世保鎮守府 高 松府 支那方面 隊各司令長官 上海根據地隊司 令官 W 班長</p>	<p>佐世保海軍軍需部長ニ關シ協力スベシ</p>
<p>機密第一二一八五六番電 一 新津ニ在リタルB二四燔群ハ昨十一日 昆明方面ニ移動セリ 二 昨日米運軍所屬P四〇戰闘機數不明ハ 六機以上十機以内ノ昆明方面ヨリ桂 林方面ニ進出ハ然ラク消耗機ノ補充ナ リト認メラル 三 東方及南方ヘノ出艦ノ前進基地ト認 メラルベキ遠川南寧ヲ使用スル米戰闘 機増加セリ 第一第二項ノ次第モアリ米運軍ノ次固 作戦ハ近ク東方若ハ南方ニ向ケ開始サ ルルモノト判断セラル 四 重慶空軍ノ揚子江中流方面ニ對スル作</p>	<p>無</p>	<p>線</p>

海 軍 六 五

<p>十三日一〇〇七 佐世保鎮守府 海防備部隊 指揮官</p>	<p>十三日一三三〇 佐世保鎮守府 參謀長</p>
<p>十三日一五〇〇 大島防備隊 丸部隊指揮官 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府 佐世保鎮守府</p>	<p>十三日一六四二 基隊在勸海軍武官 嶋公根隊地隊司令 衛隊司令官 佐世保防備隊 司令官 司令官 司令官 司令官 司令官 司令官 司令官 司令官</p>
<p>機密第一三二〇七番電 價電令作第二〇號 日鶴丸(二〇〇〇)順ノ特殊油槽船曳航十 四日佐世保派沖繩航路基隊、高嶺經由バ リツクバパンニ向ヲ速力七節各部隊ハ適 線</p>	<p>機密第一三二〇番電 大海參一部長機密第一一七一七番電關 聯日鶴丸(LWP)バリツクバパン行(○ 特油曳航)護衛艦前野丸十四日一四〇〇 鹿兒島ニ向ケ佐世保發十六日鹿兒島發船 關ニテ南西諸島ゾタヒニ護衛引續ギ二十 日基隊着豫短前路護衛ニ關シ配慮ヲ得度 無</p>

戦ハ今後モ更ニ續行セラルル徴候アリ

海軍六四

<p>海軍武官 山田川 大島 沖繩 各 隊 防備 隊 世保 隊</p>	<p>十三日 一八〇七 佐世保防備隊司令官 十三日 一五三〇 佐世保鎮守府司令官</p>
<p>宜ノ艦艇ヲ以テ左ノ要領ニ依リ中繼護衛 ヲ實施スベシ 一 佐世保、鹿兒島間 晴野丸 二 山川、横當間 山川部隊 三 横當、伊江間 大島部隊 四 伊江、基隆間 沖繩部隊 鹿兒島、横當間ハ成ルベク船團加入トス</p>	<p>機密第一三一五三〇番電 佐世保防備隊司令官ハ麾下艦艇ヲシテ 六月十五日佐世保發昭南行豫定ノ足留、 洲崎ノ直接護衛（高雄迄）ニ任ズベシ</p>

海軍第六五

<p>十四日一六一〇 佐世保鎮守府 司令長官</p>	<p>十三日一六一五 大島防備隊司令官</p>
<p>十四日二〇〇九 佐世保防備隊司令官 佐世保海軍航空隊司令官 第五戰隊司令官 佐世保防備隊司令官</p>	<p>十三日一八四〇 佐世保防備隊司令官 佐世保鎮守府參謀長 第四十三掃海隊司令官</p>
<p>機密第一四一六一〇番電 佐世保防備隊司令官及佐世保海軍航空隊司令官ハ適宜艦艇・飛行機ヲシテ六月十六日佐世保入港線定ノ第五戰隊ノ前路掃蕩ニ警戒ニ任ゼンムベシ</p>	<p>機密第一三一六一五番電 寶島ニ出帆セル興生丸船長ヨリ左ノ申出アリ護衛ニ關シ指示ヲ得度 一興生丸ノ作樂進捗來ル十七日ノ高潮時ニ浮揚セシメ十九日安州丸之ヲ曳航シ土噶喇列島ニ沿ヒ北上九州西岸ヲ經テ門司ニ向テ豫定曳航中ノ護衛ニ關シ御援助ヲ得度</p>
<p>續</p>	<p>無</p>

海軍第六六

<p>十四日 一八〇五 佐世保鎮守府 參謀長</p>	<p>十四日 一七二三 佐世保防備戰隊司令官</p>
<p>十四日 二一一五 高雄警備府 第一海上護衛隊各參謀長</p>	<p>十四日 一九四五 佐世保部隊指揮官 佐世保鎮守府參謀長 第五戰隊司令官 海軍航空隊司令官</p>
<p>機密第一四一八〇五番電 洲崎十五日〇八〇〇佐世保渡黒潮丸ZP M 艦艇天津丸GBS 翌船十四日一八〇〇 門用發十五日一〇〇伊王島ノ西六週ニ テ會同石四隻十八日一七〇〇高雄着ノ際 定例レモ昭南行艦隊速力一二節ノ航路取 島ヨリA 艦二九度三〇分一二八度一九分</p>	<p>機密第一四一七一三番電 備電令作第二三號 一 第五戰隊十六日北方航路ヲ經テ一〇〇 〇 佐世保入港ノ豫定 二 佐世保部隊指揮官ハ瀧宜ノ艦艇ヲ以テ 生月島西方海面附近ヨリ航路上ノ前路 掃蕩ヲ實施スベシ</p>

海軍第六

<p>十四日 海軍大臣</p>	<p>十四日 各鎮守府司令長官</p>	<p>官房 艦機密第二八二七號 兵器供給ノ件 副令</p>	
<p>十四日一三四五 佐世保防衛艦隊司令官</p>	<p>十四日一九一五 平島艇長</p>	<p>機密第一四一三四五番電 一 特務艦足摺・洲崎・陸軍艦黒潮丸・天津丸十五日〇九〇〇佐世保發高維ヲ經テ昭南ニ向フ速力一二節 二 平島ハ高維遠之方直接護衛ニ任ズベシ</p>	
<p>海軍武官、昭南 選給部長</p>		<p>B 點與那國ヨリ九〇度一八度〇點江島嶼ノ二七〇度六分 正午位置 十六日 二八度四分一三七度三〇分 十七日 二四度二六分一二四度四分 十八日 二一度三八分一二〇度三六分</p>	
海	軍	六	八

<p>十四日 佐世保鎮守府 司令長官</p>		<p>機密佐世保鎮守府命令第二一二號 佐世保鎮守府命令 佐世保防備戰隊司令官八官房總機密第二 七四四號訓令ニ依リ本府ニ供給サレタル 爆雷標的一型二個ノ保管出納ノ實ニ任ズ ルト共ニ之ヲ利用シ對潛射擊訓練ヲ實施 スル</p>	<p>又</p>																				
	<p>所屬海軍軍需部ヲシテ在庫兵器ヲ左記ノ 通供給セシムベシ 配</p>	<table border="1"> <tr> <th>供給先品名</th> <th>數</th> <th>備記</th> <th>專</th> </tr> <tr> <td>伊號潛水艦一艦</td> <td>三付</td> <td>三個以內訓練用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潛水艦假稱三式</td> <td>一八個</td> <td>トシテ消耗差支</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金部發泡筒</td> <td>九個</td> <td>（ナシ）（一箱ハ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>品號潛水艦一艦</td> <td>九個</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	供給先品名	數	備記	專	伊號潛水艦一艦	三付	三個以內訓練用		潛水艦假稱三式	一八個	トシテ消耗差支		金部發泡筒	九個	（ナシ）（一箱ハ）		品號潛水艦一艦	九個			<p>又</p>
供給先品名	數	備記	專																				
伊號潛水艦一艦	三付	三個以內訓練用																					
潛水艦假稱三式	一八個	トシテ消耗差支																					
金部發泡筒	九個	（ナシ）（一箱ハ）																					
品號潛水艦一艦	九個																						

海軍 六九

<p>十五日〇五五 佐世保守府 司令長官</p>		<p>十四日一五三 佐世保防備 隊司令官</p>
<p>十五日 一二五〇 佐世保隊</p> <p>大澤 參謀本部長 海軍 航空隊司令官 務部 航空隊司令官 上務部 航空隊司令官 吳守府 航空隊司令官 警備府 航空隊司令官 官署 航空隊司令官</p>	<p>十五日 〇三〇〇 佐世保 山川各部 隊司令官 大島防</p> <p>佐世保 佐世保 海軍 海軍 航空隊 航空隊 司令官 司令官 佐世保 佐世保 海軍 海軍 航空隊 航空隊 司令官 司令官</p>	<p>機番第一四一五三二番電 電令作第二二號 賣島坐礁中ノ興生丸ハ安州丸曳航シテ 九日門司ニ向ケ發ノ豫定 五ニ依リ履補ヲ實施スベシ 山川部隊艦艇適宜秋田灣又ハ片瀬灣迄 直接接衛、佐世保部隊艦艇適宜右以北 防禦海面迄直接接衛、大島部隊艦艇及 飛行機適宜賣島附近ノ警戒</p>
<p>機番第一五〇九三五番電 佐世保海軍航空隊司令官ハ左ニ依リ飛行 機ヲ古仁屋ニ派遣常駐セシムベシ (4) 指揮官 分隊長又ハ隊附尉官 (4) 派遣機 水偵常用四 補用一</p>	<p>機番第一五〇九三五番電 佐世保海軍航空隊司令官ハ左ニ依リ飛行 機ヲ古仁屋ニ派遣常駐セシムベシ (4) 指揮官 分隊長又ハ隊附尉官 (4) 派遣機 水偵常用四 補用一</p>	<p>機番第一五〇九三五番電 佐世保海軍航空隊司令官ハ左ニ依リ飛行 機ヲ古仁屋ニ派遣常駐セシムベシ (4) 指揮官 分隊長又ハ隊附尉官 (4) 派遣機 水偵常用四 補用一</p>

海 軍 七 〇



<p>十五日〇九五五 佐世保部隊指 揮官</p>	
<p>十五日 一三三〇 龍井丸、大安丸 佐世保鎮守府參 謀長、佐世保海 軍航空隊司令官 佐世保防備隊 第五戰隊司令官</p>	
<p>機密第一五〇九五五番電 一 第五戰隊十六日北方航路ヲ經テ一〇〇 〇 佐世保入港ノ豫定 二 各艦ハ左記ニ依リ航路上ノ前路掃蕩ヲ 實施スベシ 三 龍井丸空月島西方ヨリ黒母瀬東西線 迄</p>	<p>(イ) 任務 擔任區域(別令)内ノ船團 護衛、對潛對空哨戒並ニ攻 無 (ニ) 進出期日 準備出來次第速ニ 三 佐世保防備戰隊司令官ハ雷津丸ヲシテ 右基地進出ニ協力セシムベシ 四 大島防備隊司令官ハ作戰ニ關シ右派遺隊 ヲ區處スベシ</p>

海軍 七一

	<p>十五日 一三五五 伊萬里灣集會 地管理官</p>
	<p>十五日 一五三〇 佐世保鎮守府司令官 佐官 上海根拠地 隊長 官 隊司令官 第一海上護衛隊 參謀長 門司佐 勸海軍武官 佐 世保防備隊長 令官 鷹島隊長</p>
<p>機密第一五一三二五番電 一ノ第五〇三船團三隻(富江沖合同ノ正 元丸ヲ舍ム)十五日〇六〇〇伊萬里灣 後十七日一四三〇ベルブイ着ノ豫定 速力八節、航路相崎瀬戸三〇一三S六 一ヨリ余山ニ向フ 嵐山丸DAR 馬鞍 山 日滿丸QD 黃連類草雜貨上海 三 正午位置 十五日 相崎瀬戸 十六日 三二度三〇分一二五度四五分 三 護衛艦鷹島十五日一六〇〇黃島沖ニテ 合同 四 正元丸DPA 蕪湖富江ニテ合同ノ豫定</p>	<p>(四) 大安丸右以南江ノ島北方迄</p> <p>無</p>

海 軍 七 二

<p>十五日一七〇 鷹島艇長</p>	<p>十五日一九三五 佐世保鎮守府參謀 長佐世保防備隊 防備隊司令佐世保 佐世保海軍航空 隊司令長伊賀 備府鎮守府海軍 萬里親長海軍 武官上根據 地隊司令官</p>	<p>十五日〇八四 軍司令部總長</p>	<p>十五日一六五五 各鎮守府各警備 府各艦隊各司令 長官</p>
<p>機密第一五〇番電 シ第五〇三番團（鹿山丸、日滿丸、正元丸）ヲ護衛シ十五日一六三〇賣島ヲ通過 六一ヲ經テ余山ニ向フ、速力八節 十七日一二〇〇余山着ノ豫定十六日正午 位據北緯三二度二〇分東經一二五度四五分</p>	<p>昭和十八年度帝國海軍戰時編制中左ノ如 改定セラル 六月十五日 第六十六警備隊ヲ編成シ第六根據地隊 ニ第十二警備隊ヲ編成シ第十二特別根 據地隊ニ女川防備隊ヲ編成シ横須賀防 備隊ニ夫々編入</p>	<p>機密第一五〇八四番電 昭和十八年度帝國海軍戰時編制中左ノ如 改定セラル 六月十五日 第六十六警備隊ヲ編成シ第六根據地隊 ニ第十二警備隊ヲ編成シ第十二特別根 據地隊ニ女川防備隊ヲ編成シ横須賀防 備隊ニ夫々編入</p>	<p>機密第一五〇八四番電 昭和十八年度帝國海軍戰時編制中左ノ如 改定セラル 六月十五日 第六十六警備隊ヲ編成シ第六根據地隊 ニ第十二警備隊ヲ編成シ第十二特別根 據地隊ニ女川防備隊ヲ編成シ横須賀防 備隊ニ夫々編入</p>

海軍七三

<p>十五日〇八二七 大海參第一部 各鎮守府、各警備</p>	<p>機雷第一五〇八一七番電 敵潜水艦ハ攻襲ヲ受ケタル場合油、浮流</p>	<p>機</p>
<p>野風及波風ヲ第一驅逐隊ニ第十四號、 第十五號、第三十五號、第三十六號驅逐艦 潛艇ヲ大湊警備府部隊ニ夫々編入 其第四艦視察隊ヲ横濱部隊ヨリ除ク 其第一〇二號哨戒艇ヲ第二南遣艦隊ニ附 屬ス 五第十九、第二十、第二十五、第三十各 防空隊ヲ編成横濱部隊ニ第二一一設營 隊ヲ吳鎮守隊ニ第二三一設營隊ヲ舞鶴 部隊ニ三樂丸ヲ南西方面艦隊ニ夫々編 入 六吳鎮守第八特別陸戰隊ヲ南西方面艦隊ニ 附屬ス</p>	<p>機</p>	

海軍七四

長

府各艦隊各司令  
長官 總無線所

初、氣泡等ヲ放出シ欺瞞輸晦スルコトヲ  
 ルハ既報ノ通ニシテ攻撃ノ際石ノ如キ狀  
 況ヲ認メタルトキハ更ニ徹底的ニ攻撃ス  
 ルト共ニ他ニ確實ナル効果判定資料ヲ得  
 サル限リ少クトモ連續二晝夜以上附近ニ  
 在リテ軌測ニ之ヲ監視觀望多量ノ重油及  
 氣泡ノ放出繼續スルヲ備認スル等敵ノ欺  
 瞞策ニアラザルコトヲ充分確メタル後ニ  
 アラザレバ艦沈確實ト認定セザル要アリ  
 従來對潛艦艇特ニ驅逐艦ニ於テ過早ニ攻  
 撃ヲ打切り怪蛇ヲ逸シタリト判斷セラル  
 ルモノハ少カラス開戦以來各部ヨリ艦沈確  
 實ト報告セルモノ一五〇隻以上ニ達スル  
 モ各種ノ狀況ヨリ綜合實際ニ艦沈セルモノ  
 ノハ其ノ三分ノ一以下ト認メラル

線

誌

海 軍 七 五

<p>十六日一二三五 峯風驅逐艦長</p> <p>十六日 一四四五 佐世保鎮守府 佐世保海上機隊 佐世保防備隊 司令官 佐世保防 衛隊司令</p> <p>(門司在勤海軍武官)</p>	<p>十六日〇八〇七 上海根拠地隊 參謀長</p> <p>十六日 一四三〇 佐世保鎮守府 長 佐世保海上機 隊 佐世保防備隊 司令官 佐世保防 衛隊司令</p> <p>若松各在勤海軍武官</p>
<p>機密第一六一二三五番電 綠風、第三十三號驅潛特務艦 第六〇六 船團ヲ護衛シ一二〇〇ヘルブイ發</p> <p>無</p>	<p>機密第一六〇八〇七番電 一、第六〇六船團(八幡行礦石船)鳴尾 丸七〇〇噸、大治丸七四九名、大圖丸三 九七〇噸、大治丸三六六〇噸、東泰丸 四四五〇噸、浦戸丸八九〇噸、御影 丸三三〇噸 二、護衛艦綠風、第三十三號驅潛特務艦 速力八節 三、十六日〇六〇〇吳港發航路三〇〇八 三〇一六 十八日〇九〇〇黃島着十九 日</p> <p>無</p>

海軍七六

<p>日米明六連島着ノ豫定 四正午位置 十七日北緯三一度五五分東經一二五度 五〇分</p>	<p>官房艦機密第二九三三號 引揚船用兵船贊與ノ件訓令 佐世保海軍軍需部ヲシテ引揚船整備用ト シテ左記兵船ヲ第一海軍工作部ニ貸與 セシムベシ尙許細ニ關シテハ海軍艦政本 部長ヲシテ直撥佐世保海軍軍需部長及第 百一工作部長ニ通牒セシム</p>	<p>無</p>
<p>十一日 海軍大組 佐世保鎮守府司令 長官 (第一南遣艦隊司令長官)</p>	<p>十六日 九〇式三號磁氣羅針機 一型 附屬品共 四組 電動測深儀 三三〇V 同 二組</p>	<p>文</p>

海軍七七

<p>十一日</p>	<p>十六日</p>	<p>官房艦機密第二九三六號</p>	<p>醫</p>
		<p>電氣測程儀 二組                  七倍稜鏡双眼鏡 八個                  六分儀(乙又(甲)) 四個                  大輪三桿分度機 四個                  通常寒暖計 八個                  一週間捲掛時計 乙 六個                  每日捲掛時計 一〇個                  大形三角定規 四組                  兩脚器 四個                  秒時計 一型乙 四個                  九九式測深儀 一〇〇V 一組                  I S K 電動捲揚機(三馬力) 一組                  (水路部ノモノヲ兵器ニ                  受入手續中)</p> <p>艦内線第一二七八號</p>	<p>文</p>

海軍七八



海軍大臣

横須賀、吳、佐世  
保各鎮守府司令長官  
聯合艦隊、第一  
艦隊、第六艦隊  
各司令長官

伊號第十六及十七型潜水艦ニ  
運砲筒搭載施設整備ノ件訓令

部下海軍工廠ヲシテ前題ノ件左記ニ依リ  
施行セシムベシ

記

一 施行艦名

- 伊號第十六、十七、十九、二十、二十一、二十四、二十五、二十六、二十七、二十九、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十九、潜水艦

二 施行場所

本艦ニ拘ラズ修理等ノ爲最近入港地ノ  
海軍工廠ニ於テ施行スルモノトス  
本艦地以外ニ於テ實施セル場合鐵施セ  
ル海軍工廠長ハ完成後其ノ旨本籍地ノ

文

海軍工廠長及海軍艦政本部長ニ通知ス  
ルモノトス

三 工事要領

選砲筒ノ靈及鑿止裝置ヲ新設スルモノ  
トシ其ノ詳細ニ關シテハ海軍艦政本部  
長ヲシテ直接各海軍工廠長ニ通牒セシ  
ム

尚(イ)後甲板ノ主砲ハ選砲筒搭載ノ都度  
取外スルモノトシ其ノ備存靈ス  
(ロ)現ニ選砲筒搭載施設ヲ有スル艦ニ  
在リテモ本施設ヲ裝備スルモノト  
ス

四 宛 成期

時機ヲ得次第

五 費 目

臨時軍事費 臨時軍事費 造船造兵及

文

幣